

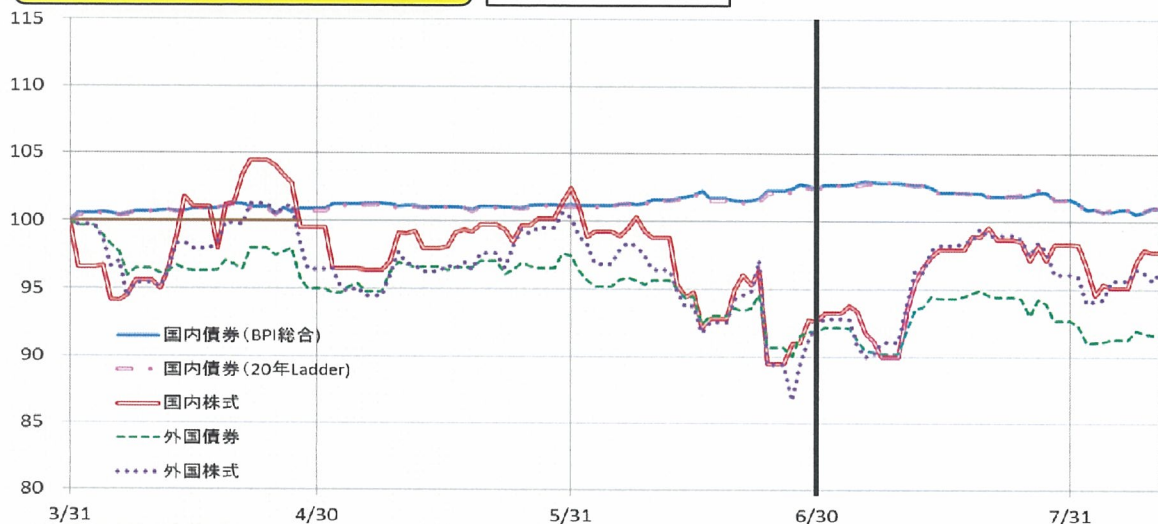
平成28年度第1四半期運用環境

ベンチマークとは、運用成果を評価する際に用いる、市場の動きを代表する指数のことです。

ベンチマーク収益率とは、取引に係る売買手数料等の取引コストを除き、理論的に算出された市場の平均的な収益率のことです。

1. ベンチマーク収益率の推移

H28.3.31 = 100



資産区分	ベンチマーク	収益率(通期)(H28.4~)		
		6月30日	7月31日	8月11日
国内債券①	NOMURA-BPI総合	+2.47%	+1.65%	+0.99%
国内債券②	NOMURA 20年ラダー	+2.38%	+1.64%	+1.06%
国内株式	TOPIX(配当込)	△7.39%	△1.67%	△2.25%
外国債券	シティ世界国債	△8.14%	△7.34%	△8.41%
外国株式	MSCI ACWI ex JAPAN(配当込)	△7.63%	△3.88%	△3.74%
合計(1,2階・旧3階基本PF 国内債券①を採用)		△4.11%	△1.91%	△2.41%
合計(1,2階計画PF 国内債券①を採用)		△3.28%	△1.47%	△2.00%
合計(旧3階当面 国内債券②を採用)		△3.12%	△1.17%	△1.66%

※合計は資産構成割合が全て基本ポートフォリオの中心値である場合のベンチマーク収益率

2. 主な市場動向

【国内債券】

10年国債利回りは前年度に引き続き、マイナス金利圏で推移。6月に入り英国のEU離脱懸念により投資家のリスク回避姿勢が強まり一段と低下し、過去最低水準となった。利回りが低下した結果、ベンチマーク収益率(NOMURA-BPI総合)は+2.47%となった。

【国内株式】

4月は原油価格の回復や欧米株式市場の好調等により上昇したが、月末の日銀の追加金融緩和見送りにより急激な円高・ドル安となり5月にかけて下落。その後は緩やかな円安・ドル高傾向や原油価格上昇により反発に転じたものの、6月に入り英国のEU離脱決定で円高が急伸し、大きく下落。その結果、ベンチマーク収益率は▲7.39%となった。

【外国債券】

米、独の10年国債利回りは、ともに原油価格上昇や世界的な株価上昇を受け、4月下旬にかけて上昇。その後、英国のEU離脱懸念などを背景に大きく低下し、特に独は6月半ばに初めてマイナス金利圏となった。第1四半期では米1.77%から1.47%、独は0.15%から▲0.13%へ利回りが低下したが、為替の円高の影響により、ベンチマーク収益率は▲8.14%となった。

【外国株式】

米、独ともに原油価格の上昇や世界景気に対する警戒感が和らいだこと等により4月～5月は上昇基調で推移。6月は英国のEU離脱懸念により下落基調となり、離脱決定で大きく下落。その後、米は反発し下落前の水準に回復したものの、独は前期末に対して下落し、ベンチマーク収益率は▲7.63%となった。

【為替】

ドル/円は、4月末に日銀が追加金融緩和を見送ったことによる失望感から円高が進行。5月にかけて米の利上げ観測の高まりから円安となる局面も見られたものの、6月の英国のEU離脱決定を受けて急速に円高ドル安が進行。ユーロ/円も同様に、4月の日銀の追加金融緩和見送り、6月の英国EU離脱を受けて円高ユーロ安となった。

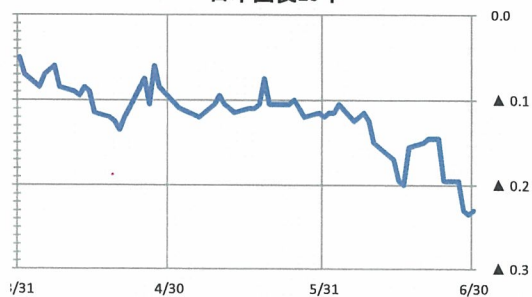
主な経済指標の推移

(出典:bloomberg)

10年国債の利回りの推移(日、米、独)

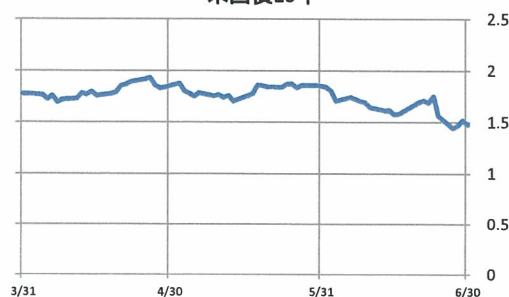
3月末 ▲ 0.05 → 6月末 ▲ 0.23

日本国債10年



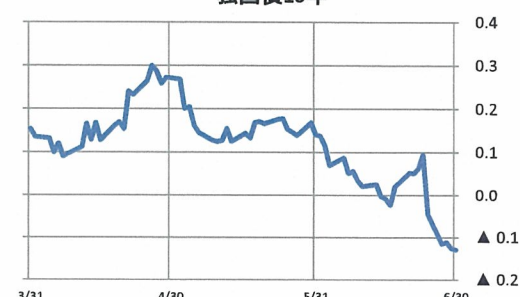
3月末 1.77 → 6月末 1.47

米国債10年



3月末 0.15 → 6月末 ▲ 0.13

独国債10年



国内株式の経済指標の推移

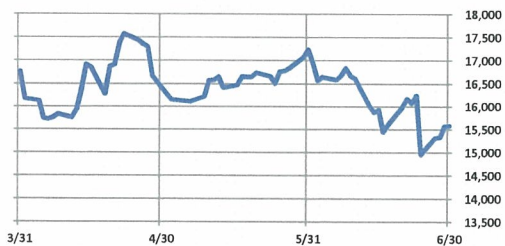
3月末 1,347 → 6月末 1,246

TOPIX



3月末 16,759 → 6月末 15,576

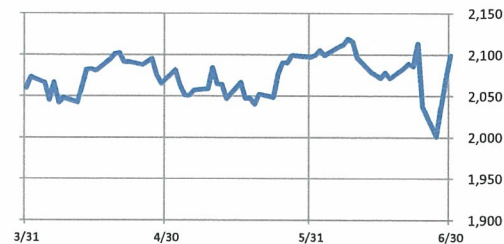
日経平均



外国株式の経済指標の推移

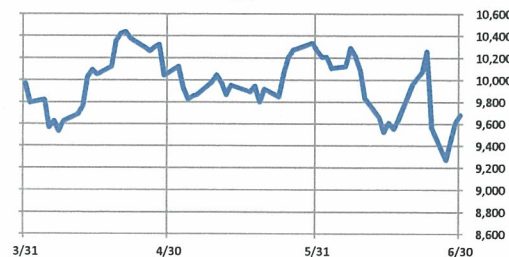
3月末 2,060 → 6月末 2,099

S&P500



3月末 9,966 → 6月末 9,680

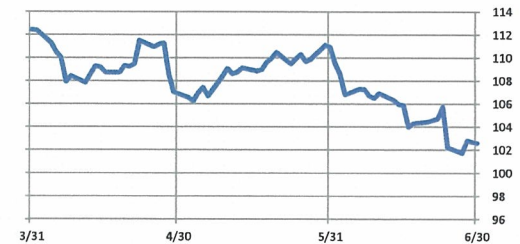
独DAX



為替レートの推移

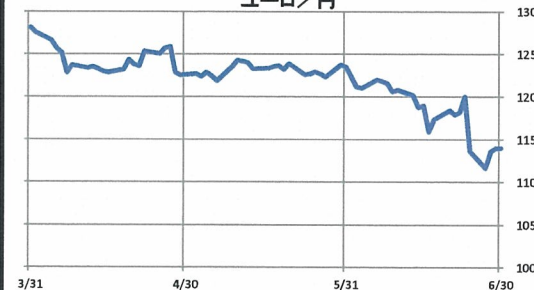
3月末 112.4 → 6月末 102.6

ドル/円



3月末 128.1 → 6月末 114.0

ユーロ/円



各積立金の運用状況(平成28年度第1四半期)

1 各積立金の資産構成割合

○厚生年金保険給付組合積立金

	平成28年度 (第1四半期)			
	資産額	構成割合	基本ポートフォリオ	
			中心値	許容乖離幅
国内債券	24,690	50.9%	35%	±15%
国内株式	8,053	16.6%	25%	±14%
外国債券	5,409	11.2%	15%	±6%
外国株式	8,155	16.8%	25%	±12%
短期資産 運用等	2,163	4.5%	—	—
合計	48,469	100.0%	100%	—

○経過的長期給付組合積立金

	平成28年度 (第1四半期)			
	資産額	構成割合	基本ポートフォリオ	
			中心値	許容乖離幅
国内債券	27,783	50.1%	35%	±15%
国内株式	10,744	19.4%	25%	±14%
外国債券	5,486	9.9%	15%	±6%
外国株式	9,101	16.4%	25%	±12%
短期資産 運用等	2,342	4.2%	—	—
合計	55,457	100.0%	100%	—

○退職等年金給付組合積立金 ※簿価

	平成28年度 (第1四半期)	
	資産額	構成割合
国内債券	641	99.8%
短期資産 運用等	1	0.2%
合計	642	100.0%

注 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

2 各積立金の運用状況

○厚生年金保険給付組合積立金

<修正総合利回り>

	平成27年度 (第4四半期)	平成28年度 (第1四半期)	(参考) ベンチマーク
国内債券	+2.75%	+2.04%	+2.47%
国内株式	△12.14%	△7.21%	△7.39%
外国債券	△0.78%	△8.16%	△8.14%
外国株式	△4.52%	△7.87%	△7.63%
短期資産 運用等	+0.12%	+0.00%	-
合計	△1.41%	△2.49%	△4.11%

○経過的長期給付組合積立金

<修正総合利回り>

	平成27年度 (第4四半期)	平成28年度 (第1四半期)	(参考) ベンチマーク
国内債券	+2.95%	+1.91%	+2.47%
国内株式	△11.70%	△7.13%	△7.39%
外国債券	△0.87%	△8.15%	△8.14%
外国株式	△4.55%	△7.87%	△7.63%
短期資産 運用等	+0.06%	+0.00%	-
合計	△1.52%	△2.72%	△4.11%

○退職等年金給付組合積立金

<実現利回り>

	平成27年度 (第4四半期)	平成28年度 (第1四半期)
国内債券	+0.07%	+0.01%
短期資産 運用等	+0.01%	+0.00%
合計	+0.05%	+0.01%

<総利回り>

	平成27年度 (第4四半期)	平成28年度 (第1四半期)
国内債券	+0.18%	+0.14%
短期資産 運用等	+0.01%	+0.00%
合計	+0.15%	+0.13%

$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}}{\text{簿価平残} + \text{前期未収収益} + \text{前期末評価損益}} \times 100(\%)$$

$$\text{実現回り} = \frac{\text{実現損益}}{\text{簿価平残}} \times 100(\%) \quad \text{総利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減}}{\text{簿価平残}} \times 100(\%)$$